

2011年度

科目名	宗教学講読A			
担当教員	貫名 讓			
配当	文財2・人社2		コード	23062
開期	前期	講時	火曜日3限	単位数 2
授業テーマ	『正信偈』にみる親鸞の仏教観			
目的と概要	親鸞の主著である『教行信証』の中にある「正信偈」の後半を読みながら、釈尊の説き示した教を親鸞まで伝承していった、インド・中国・日本の7人の祖師の思想的特徴をみていきたいと思います。			
成績評価法	総合評価(平常点・試験)			
テキスト	初回講義時に説明します			
参考書				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	インド・中国・日本と国は違います。時代も大きく異なります。しかし、それぞれの人が言いたかったことは何かを、現代を生きる私たちの立場でうかがってみて欲しいと思います。また、できるだけ授業前に1回生の時の「宗教学」の授業で使用したテキストを読み直しておいてください。			
講義計画				
1. オリエンテーション：講義の概略と進め方 2. 正信偈の構成と、前半部分の概略 3. 龍樹の教え 4. 天親（世親）の教え 5. 曇鸞の教え（1） 6. 曇鸞の教え（2） 7. 道綽の教え 8. 善導の教え（1） 9. 善導の教え（2） 10. 源信の教え（1） 11. 源信の教え（2） 12. 源空（法然）の教え（1） 13. 源空（法然）の教え（2） 14. まとめ 15. 課題提出				